

介護老人 保健施設 美杉

「コロナ禍における在宅復帰支援サービス・通所リハビリサービスの提供」

当施設は、1998年4月に開設し、入所定員150名、通所リハビリ100名、グループホーム2ユニットを併設している美杉会グループの大規模施設です。2018年度から在宅復帰超強化型施設としてサービスを提供しています。その中で利用者のリハビリの進捗状況、日々の生活動作や状況、家族の状況などについて、医師、療法士、看護師、介護職員、相談員、栄養士で構成する多職種連携チームが情報共有を行い、入所から退所までをチーム一体で支援しています。

当施設の課題として、重度者の受け入れを進める上で在宅復帰が困難なケースが増えてきており、平均在所日数もこれに比例して延びていることがあります。そこで、我々は、在宅復帰に取り組む『カエールチーム』を立ち上げ、さらなる在宅復帰の強化のための取り組みをしています。具体的な取り組み内容としては、各利用者の目標を設定し、目標を達成するためのリハビリメニューの作成、自宅の環境に合わせた歩行訓練や排せつ訓練の実施、家族への介護や在宅生活を行う上での悩み相談を行い、動作や介助に関する指導をしています。

しかしながら、昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設内での面会ができなくなり、在宅復帰への活動も制限を余儀なくされました。そのため、日々試行錯誤しながら、オンライン面会や、動画配信、短時間・少人数での入所退所訪問、介護指導を導入することによって、コロナ禍における在宅復帰ができました。様々な取り組みを通して、超強化型を維持し、地域における中間施設としての役割を果たしていると自負しております。

また通所においても、感染症の影響を受け、利用率が減少しましたが、美杉会グループの業務改善活動の一環として万全な感染対策を行った上で、利用率アップと満足度向上に取り組みました。利用者が安心して有意義に過ごせるデイケアサービスを目標とし活動を続けた結果、今年度は、徐々に回復の兆しが見えてきています。今後も予断を許さない状況ですが、引き続き利用者のニーズに応えていくよう邁進していきたいと考えています。

これから迎える2025年問題をはじめ、老々介護や認々介護など、高齢者や介護者を取り巻く状況はますます厳しくなっています。地域包括ケアの一端を果たし地域での自立支援と介護予防を図り、高齢者が元気に暮らせることを支援するため、皆さまに安心していただけるサービスをご提供できるよう日々努めていきたいと思っております。



【執筆：大寺 優（介護士長）】

（所在地：枚方市西招提町2166／入所定員：150名／通所リハビリ：100名）